

# 公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和5年度予算額（案） 687億円  
（前年度予算額） 687億円

令和4年度第2次補正予算額 1,203億円



## 背景

- ◆ 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- ◆ 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備**を推進。
- ◆ 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献**する持続可能な教育環境の整備を推進。

### 1 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化

### 2 防災・減災、国土強靱化の推進

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化（トイレ改修等）

### 3 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）
- 木材利用の促進（木造、内装木質化）

## 具体的な支援策

### ■ 制度改正：

- 特別支援学校の教室不足解消に向けた改築・改修の補助率引上げ（1/3→1/2）
- 断熱性が確保されている体育館への空調設置（新設）について補助率引上げ（1/3→1/2）

### ■ 単価改定：

- 物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増 **対前年度比 +10.3%**  
小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合  
R4:243,300円/㎡ ⇒ R5:268,300円/㎡

他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備

## 新しい時代の学校施設



避難所としての**防災機能強化**



バリアフリートイレの整備

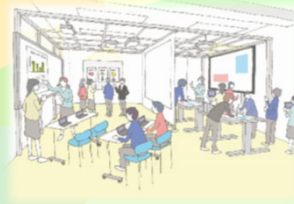
激甚化・頻発化する災害への対応



台風で屋根が消失した体育館



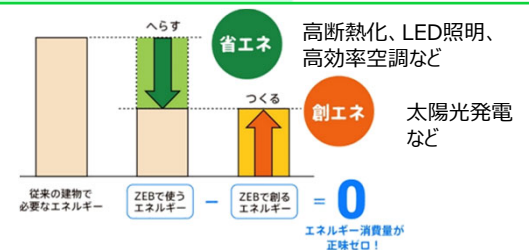
老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



## 国土強靱化

## 脱炭素化

柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現



### ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減するとともに創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物

出典：環境省ホームページ